

# 不登校生のオンライン授業に係る要望書

2020年7月17日

三条市教育委員会 長谷川正二教育長  
三条市教育委員会 小中一貫教育推進課 高橋誠一郎課長

日頃より不登校児童生徒への対応にご理解・ご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

不登校となっている生徒の多くは、学校に行きたくても行けません。いじめを受けた、先生とうまくいかない、発達障害がありみんなとうまく合わせられない、勉強についていけない、など、理由は様々ですが、その多くは、行きたいという気持ちはあるのに叶わないということです。

今回新型コロナウイルスの影響で、生徒全員が学校に行けなくなり、辛い思いをしたことと思います。いわば学校の生徒全員が不登校生となったわけです。

しかし、学校にいけない状況でもその不自由さを乗り越えて学習できるよう、市がオンラインによるリモート学習の準備を進めているとお聞きしました。

不登校であっても授業を受けられる機会が得られることは、進学、学力の心配を解消でき、将来に向けて明るい希望が持てる、不登校生にとってまたとない福音であると考えます。

このような機会にあたり、私たち不登校支援活動をしている団体として、次の2つのことを要望いたします。

- 1) 新型コロナウイルスが収束し、今までの学校生活に戻った後も、一度構築したリモート授業の環境と経験を生かし、不登校生に対してリモート授業を受けられるようご検討いただきたい。
- 2) 不登校生を含む全ての生徒の家庭にインターネットアクセス環境が持てるよう、環境のない家庭には機器の提供をご検討いただきたい。

不登校生親の会 ゆきわりの会 代表 宮島信一  
フリースクールヒュッゲ 代表 関口健志  
不登校児・家族支援seizei 桜井美穂  
一般社団法人 おもいやり育英会 創始者 野寄 久雄